

無投票で再選が決まった総社市長選挙。  
片岡聡一総社市長に2期目の市政についてインタビューしました。

# 礼儀正しい子どもを育てる

## 総社流の独自施策を展開し 弱者にやさしく住みよい福祉都市を目指す

——無投票で再選されたが  
21年ぶりに無投票という結果を  
市民が選んでくださった。投票に  
よる結果より、逆に重たいと考え  
ている。だからこそ、声なき声に  
耳を傾け、いかに謙虚に政策を実  
行していくかが重要だ。

### ——2期目の方針は

総社流の独自政策を、市民と協  
働で進め、確実に実現を目指して  
いく。また、それぞれの課題をス  
ピード感をもって実行に変えるた  
め、強いリーダーシップをもって  
遂行していく。そのことで、地域  
主権を自らで勝ち取り、全国でも  
先駆的な役割を果たす市にしてい  
きたい。

### ——個々の政策の展開は

第一に、障がい者の1000人

雇用だ。福祉系統で500人、民  
間系統で500人を考えており、

事業所ベースでの就労をできるだ  
けすばやく立ち上げたい。企業就  
労については、総社商工会議所と  
10月12日、「障がい者就労に関す  
る協定書」を締結した。これを基に  
に、企業と個別に採用ベースの話  
し合いの場をもち、国の政策や有  
利な制度のメリットを伝えたいと  
考えている。また、特別支援学校  
を見てもらい、彼らのスキルを理  
解してもらおうとも思っている。

障がい者の日常生活から就労ま  
で24時間見られるスタッフを得た  
いとも思う。そのためには、市内  
へ障害者就業・生活支援センター  
の誘致が必要で、県や国に働き掛  
けていきたい。

5年で1000人。市内のみな  
らず近隣市の企業や障がい者も対

えなければならぬ。そのうえで  
2500人を目指し、市内の店舗の  
売上げ増の経済の活性化や、高齢  
者の健康増進になれば、全国の新  
たな2次交通システムのモデルと  
なる。それほど総社市は注目され  
ている。

象にして進めたい。

### ——地産地消の「地・食べ」は

農業公社が今年4月から商社機  
能を有する法人に変わった。いわ  
ゆる、農産物を「買い付け」「販  
売」する商社になった。その上で、  
学校給食での市内産の野菜の使用  
率35%を目標としており、生産し  
てくれる契約農家を増やしたい。  
また、学校給食共同調理場が、規  
格外の形状の食材を調理できるよ  
う歩み寄って、できるだけ普通の  
小規模農家が作った野菜を買って  
いくこともやっていく。その結果  
として35%を実現したい。米だけ  
を作るのではなく野菜を作ること  
で、一反(10ア)当たりの収入を増  
収させるねらいだ。そうして市の  
ほ場の景色を変えたい。これが成  
功したら日本全体の農業が変わっ

### ——教育は

礼儀正しい子を育てたい。両親  
や家族に対する尊敬、目上の人へ  
言葉遣いや礼儀、地域の人々への  
尊敬、年下をいつくしむ気持ち、  
弱者への愛を、子どもたちにもつ  
てほしい。これを進めるため、京  
セラの伊藤謙介相談役を会長に迎  
え、早い時期に質の高い総社礼儀  
委員会を立ち上げる。10年かけて  
やり、今の幼稚園児が高校生にな  
ったときの姿をみてほしい。

### ——財政については

来年度の予算編成は、シーリン  
グ0でいく。単年度の黒字を出す。  
中原市内のユニチカ跡地への企業  
誘致を進める。企業誘致の情報提  
供者に対する成功報酬3%を払う  
制度もできた。無駄を省き出を押  
さえ、入りを増やす。財政は厳し  
いが、さまざまな施策を展開した  
い。

### ——自立する総社市の姿とは

市内で自立した経済圏を確立す  
ることだ。総社流の施策を展開し、  
自己経済流通圏を確立できれば、  
進学のため県外に出た人が帰郷し  
就労する。そして、人が集まり、  
商圏が広がり、それに呼応して企



っていく。

### ——雪舟くんは

9月の雪舟くんの1日平均乗車  
数が2000人を超えた。目標とし  
ている2500人平均を目指すた  
め、来年4月から制度を変えてい  
く。運賃の300円はそのまま、  
市民がいかに便利に利用できるか  
を考え、柔軟に変えていく。共通  
エリアの拡大とか予約システムの  
あり方など、今不満がある部分は  
変えていく。タクシードライバ  
ーへの損益の補てんシステムも考

業がやってくるという循環につな  
がる。そうすれば将来、子々孫々  
まで総社市という自治体が残り、  
県南の雄となる。さらに、障がい  
者が普通に働き、高齢者が喜ぶ、  
弱者にやさしく住みよい福祉都市  
を目指したい。

### ——市民の皆さんにメッセージを

無投票により、平和的選挙が行  
われた。今こそ市全体が同じ方向  
を向き、私自信も襟を正して実行  
していく。総社市流の独自施策を  
どんどん出していき、市民の皆さ  
んと協働で乗り越えていく。結果、  
総社市は変わり、自立したまちに  
なるとともに、明るい未来が開け  
てくる。それを、市民の皆さんと  
ともに歩んでいきたい。



## 2期目を迎えた 片岡市政